

この度はシーアンドシー製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## 安全上のご注意

※ここに示した注意事項は、人や製品への危害や損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。内容をよく理解してから製品を正しく安全にお使いください。

- ⚠ **危険**：取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が高いと想定されます。
- ⚠ **警告**：取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
- ⚠ **注意**：取り扱いを誤った場合、ケガを負う可能性および物的損害の発生が想定されます。また、製品の品質・信頼性が損なわれる可能性があります。

## ⚠ 危険

- 電池ユニットを火中に投入したり、加熱しないこと。
- 電池ユニットに直接ハンダ付けしないこと。
- 電池ユニットを分解・改造しないこと。発熱・発火したり、強アルカリ性の液が飛散して危険です。
- 電池ユニットの金属端子部分に導電性の金属物（針金やネックレス・ヘアピンなど）を接触させないこと。また、金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないこと。電池ユニットの液もれ・発熱・発火・破裂などにつながる恐れがあります。
- 充電は、専用充電器を使用して、指定の充電条件を守ること。他の充電器を使用した場合は、電池ユニットを液もれ・発熱・破裂させる原因になります。
- 電池ユニットの液もれが発生した場合は、すぐに火気より遠ざけること。もれた液や気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
- 万一、電池ユニットの液もれが発生し、液が皮膚や衣服についた場合は、すぐに水でよく洗い流すこと。皮膚に障害を起こすことがあります。液が目に入ったときは失明の恐れがありますので、目をこすらずにきれいな水で洗い、ただちに医師にご相談ください。

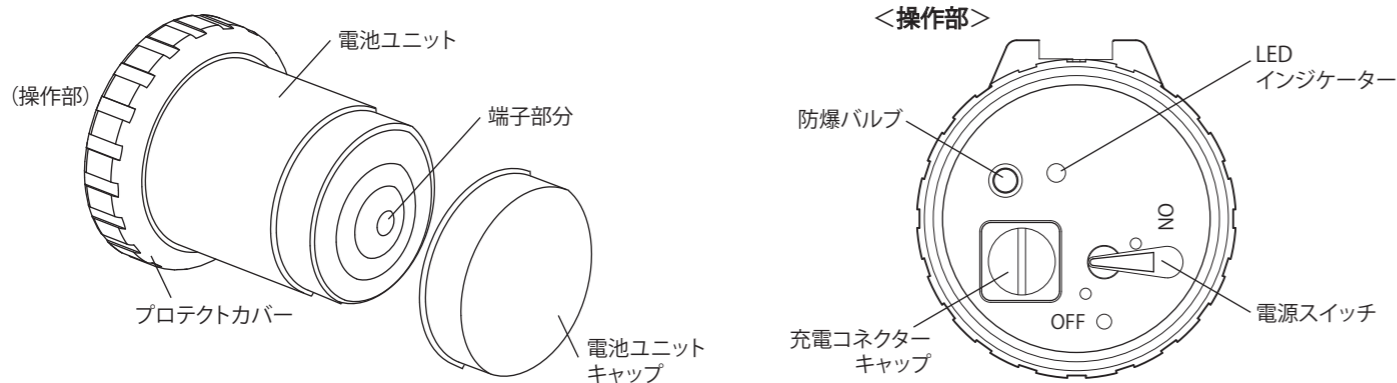
## ⚠ 警告

- 電池ユニットをメインボディに取り付けずに単体で海水等につけたり、電池ユニットの端子部分を濡らさないこと。電池ユニットを発熱させたり、端子等のサビの原因になります。
- 充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめること。電池ユニットを液もれ・発熱・破裂させる原因になります。
- 電池ユニットが液もれしたり、変色・変形、その他従来と異なる場合は使用しないこと。異常と感じたときは、すぐに使用を中止し、ご購入の販売店にご相談ください。
- 電池ユニットを直射日光の当たるところや炎天下の車内、ストーブの前面などの高温の場所で使用・放置しないこと。電池ユニットの液もれ・発熱・性能低下・寿命短縮の原因になります。

## ⚠ 注意

- ご使用前に必ず電池ユニットおよび充電器の取扱説明書をよくお読みください。
- 電池ユニットを使用しないときは、メインボディから取りはずし、端子部分に電池ユニットキャップを取り付けて保管してください。
- 一般的な特性として、使用を繰り返すことにより、少しずつ内部のバッテリーの容量が少なくなっていくます。ご使用前に必ず充電してください。
- 電池ユニットは消耗品です。充電後、ライトの点灯時間が約80分以下になった場合には、寿命近くとなっていますので新しい電池ユニットをご購入ください。
- 長期間保管した電池ユニットを再充電した場合、点灯時間が短くなる場合があります。その場合は、2～3回程度充電・放電（ライト点灯）を繰り返してからご使用ください。
- ご使用前に必ずOリングのメンテナンスをおこなってください。
- 電池ユニットに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 電池ユニットの使用（放電）は、必ず0～40℃の温度範囲でおこなってください。
- 電池ユニットの充電は、必ず10～30℃の温度範囲でおこなってください。
- 電池ユニットを長期間ご使用にならない場合は、満充電状態で保管してください。
- 電池ユニットを冷たいまま、または低温の戸外（0℃以下）で充電しないでください。電池ユニットの液もれ・性能低下・寿命短縮の原因になります。
- 電池ユニットおよびメインボディの端子部分が汚れると、機器との接触が悪くなり、電源が切れたり、充電されないなどの問題が起こります。乾いた布などで端子部分を拭き、きれいにしてからご使用ください。
- ご使用後は、必ず電源スイッチを切ってください。液もれの原因になります。
- 電池ユニットをメインボディに接続せず、単体のまま充電する場合は、端子部分に電池ユニットキャップを取り付けて充電してください。

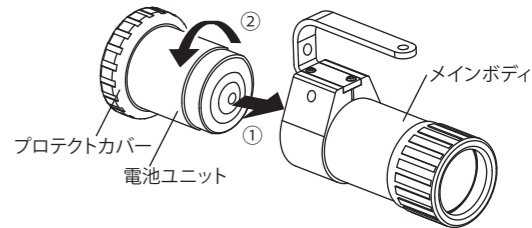
## 各部の名称



## 使用方法

メインボディに電池ユニットを取り付ける

- 1 電池ユニットから電池ユニットキャップを取りはずし、Oリングをチェックする
  - 赤いOリング(2本)にキズやゴミ等がないことを確認してください。
- 2 メインボディに電池ユニットをまっすぐ合わせ①、時計方向に止まるまでまわす②
  - プロテクトカバー部分を持ってまわさないでください。

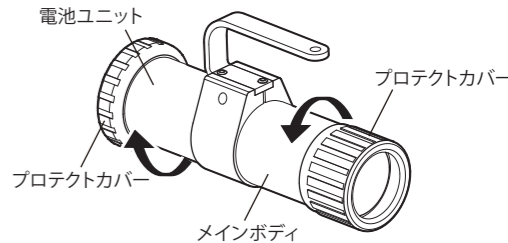


電池ユニットを取りはずす

- 1 本体部分をしっかりと握り、反時計方向にまわす
  - プロテクトカバー部分を持ってまわさないでください。
  - 取りはずした電池ユニットは、端子部分に電池ユニットキャップを取り付けて保管してください。

## ⚠ 注意

プロテクトカバー部分（操作部および発光部）を持って本体の取り付け・取りはずしをおこなうと、操作面および発光面がゆるみ、浸水の原因となる恐れがあります。



電池ユニットの充電

- ご購入後、最初にご使用になるときは、2～3回程度充電・放電（ライト点灯）を繰り返してからご使用ください。
- ご使用前に必ず充電してください。
- ご使用後は、バッテリーの劣化を防ぐため満充電の状態で保管してください。保管中は自己放電によりバッテリーの容量が低下します。満充電にしてからの保管期間が45日以上経過しましたら再度充電し、常に満充電の状態で保管してください。
- 電池ユニットは消耗品です。お買い上げいただいてから1年間たちましたら、もしくは充電後のライトの点灯時間が約80分以下になった場合は、新しい電池ユニット（LX-24HID用電池ユニット：57107）をお買い求めになり、交換してください。

## 1 コイン等で充電コネクタキャップを反時計方向にまわして取りはずす①

- 充電コネクタ内部に水滴が残っている場合は、必ず水滴を取り除いてください。

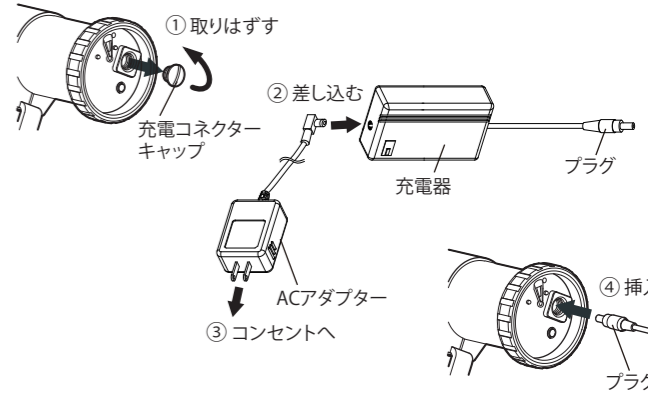
## 2 ACアダプターを充電器へ奥までしっかりと差し込み接続する②

## 3 最初にACアダプターをコンセントに差し込み③、その後充電器のプラグをコネクタへ挿入する④

- 充電器のランプが緑色から赤色に点灯し、充電を開始します。
- 充電器のランプが再び緑色になりましたら充電完了です。プラグをはずし、充電コネクタキャップの赤いOリング(2本)をチェックしてからキャップを取り付けてください。

## ⚠ 注意

- 充電の際は、必ず専用の充電器（LX-24HID用充電器：57106）をご使用ください。
- 充電を開始する前に、必ず電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。電源スイッチがONの状態では充電できません。また、電源スイッチがONの状態では充電器のプラグを抜き差しすると、故障など思わぬトラブルの原因になります。
- 充電器のプラグを電池ユニットのコネクタに挿入したまま保管しないでください。故障など思わぬトラブルの原因になります。
- 充電器のプラグを電池ユニットに挿入してからACアダプターをコンセントに差し込んで充電を開始すると、故障など思わぬトラブルの原因となりますので、おやめください。
- 充電中は、電池ユニットおよび充電器に長時間ふれないでください。低温ヤケドをする恐れがあります。
- 振動のない平らなところで充電してください。充電中に振動を与えると、誤作動の原因になります。
- 充電器のプラグを充電コネクタから抜くときは、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると断線する恐れがあります。
- 充電中は電池ユニットや充電器に布などをかぶせないでください。熱がこもり故障の原因になります。
- 使用直後は電池ユニット内部のバッテリーが発熱しており、正常に充電できません。常温まで下がってから充電を開始してください。



## 仕様

【使用可能機種】	LX-24HID	【材質】	ボディ：耐腐蝕アルミニウム合金
【適応充電器】	LX-24HID用充電器		操作部：ABS樹脂
【公称電圧／容量】	11.1V 5200mAh	【質量】	600g
【寸法】	φ63mm(最大径)×115mm(奥行)		
【付属品】	電池ユニットキャップ、取扱説明書(本書)		

※仕様および外観などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。